

目次 Contents

- 3 お悔やみ
- 4 Shimotsuke-City Topics まちの話題
- 7 人権の世紀
- 8 年末年始のお知らせ
- 10 農業委員会だより
- 14 下野市理科研究展覧会審査結果
- 15 下野市ファミリー・サポート・センター
- 16  環境トピックス
- 19 石橋駅周辺公共用地利活用市民懇談会
- 20 市県民税・所得税のお知らせ
- 21 公的年金を受給されている方へ
- 22 平成30年度上半期の財政状況
- 24 下野市消防団活動
- 26 保健だより  Health Information
- 27 医療コラム
- 28 障がいのある方への就労支援
- 29 障がい福祉瓦版
- 30 生涯学習だより
- 32 新・下野市風土記
- 33 **Let's SPORTS**
- 36 図書館だより
- 38 国民年金だより
- 39 暮らしの情報
- 54 12月のカレンダー
- 55 国際交流員カロリンのコラム
- 56 イベントカレンダー

今月の表紙

～カロリンの英語で遊ぼう～

今月の表紙は、8月にドイツから来た国際交流員カロリンによる「英語で遊ぼう」の様子です。

英語で遊ぼうは、月に2回ほど保育園で年長さんを対象に、英語の歌を歌ったり、色や動物、挨拶などで遊んだりしながら英語に親しんでいます。

写真は吉田保育園で、カロリン先生が保育園に行くと、子どもたちは大きな声で挨拶をしてくれました。この日は、カードで英語の動物名を覚えた後、

みんなで動物のモノマネをして、それを英語で当てる遊びをしました。子どもたちは楽しそうに、ネコ、ゴリラ、クラゲ、ヘビなどいろいろな動物を上手にモノマネしていました。

カロリンは、ほかにも「ママパパEnglish」や「国際交流員イベント」などを開催していますので、気軽に参加し、ドイツのことを聞いたり、外国の文化について話してはいかがでしょうか。

今月の何の日

12月7日 クリスマスツリーの日

1886年の12月7日に日本で最初にクリスマスツリーが飾られたことを記念し、制定されました。本物のモミの木ではなく、プラスチックなどのクリスマスツリーを家に置いておくことは、日本でも珍しくはないですが、欧米でも元々クリスマスに木を飾る習慣はありませんでした。

クリスマスツリーの原型や由来はいくつかの説がありますが、古代の北ヨーロッパに住んでいた原住民族がカシの木をお祭りで飾っていたのが由来、という説があります。彼らは、樹木を強く信仰していて、ユールと呼ばれる冬至の祭りをを行うときにカシの木を飾っていました。そんな彼らに、キリスト教の拡大を推し進める人たちはユールのカシの木を、同じ常緑樹のモミの木に置き換える

ことでキリスト教信仰へと導こうとしたのです。モミの木の姿がキリスト教の教えを表しているように見えることから、モミの木がキリスト教の象徴であるというイメージが浸透していき、キリストの誕生を祝うクリスマスにはモミの木で作られたクリスマスツリーが飾られるようになりました。

日本でのクリスマスは、信仰は関係なく、誰でも楽しめる冬のイベントとして定着しています。毎年クリスマスにはケーキだけ食べて終わりという方も、今年は家でクリスマスツリーやイルミネーションの飾り付けをして親しい人たちとパーティーを開くなど、本格的にクリスマス気分を味わってはいかがでしょうか。メリークリスマス！

■人口と世帯（11月1日現在）

人口／60,164人(+16)、男性／29,839人(+11)、女性／30,325人(+5)、世帯数／23,936世帯(+15)

